

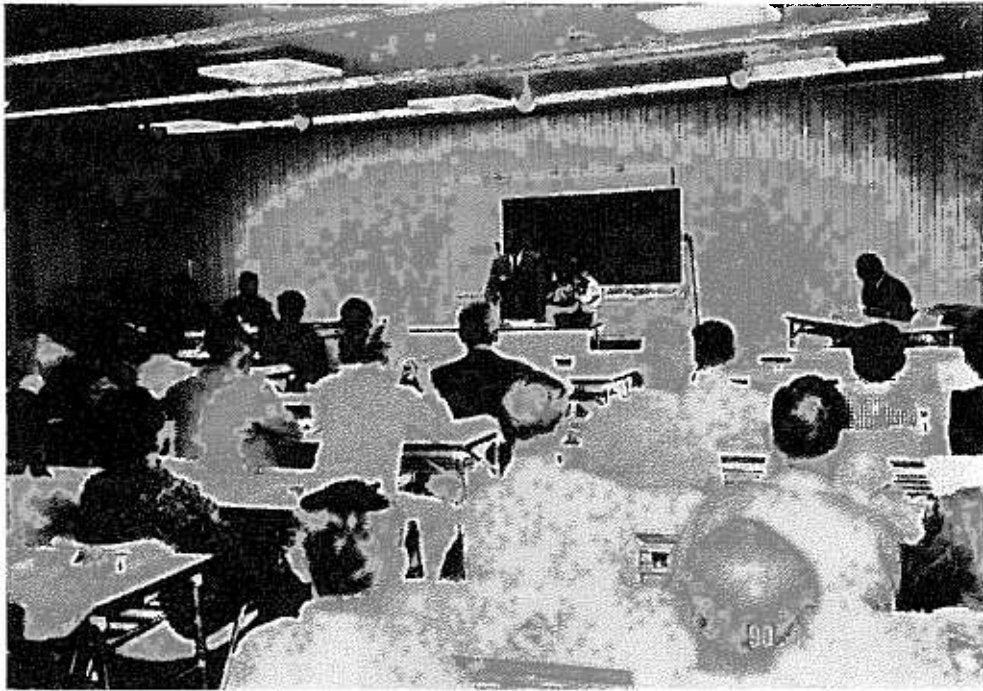
# いきがい

平成2年7月発行

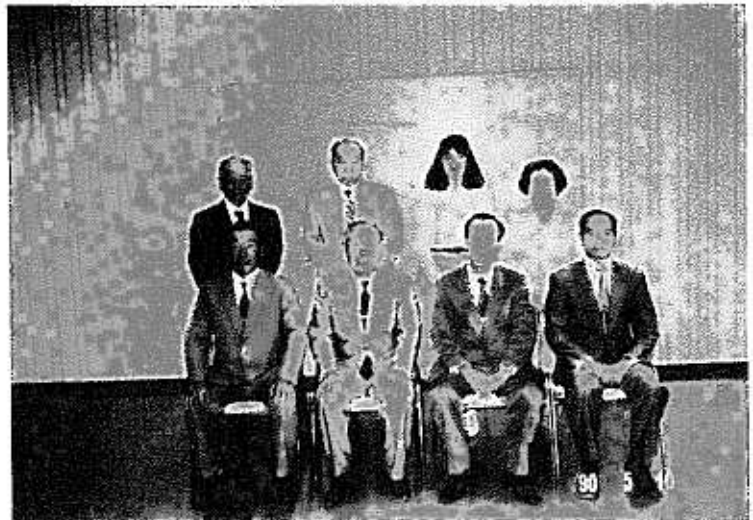
No. 9号

南足柄市高齢者  
生きがい事業団

事務局 南足柄市関本 403-2  
電話 72-0789



〃平成二年度総会〃  
福祉会館にて



## 〃会員の表彰〃

永年にわたって事業団発展につく  
された方々を表彰しました。

宇留間キク様	杉山寿男様
加藤かつみ様	渡辺賢藏様
高橋節男様	夏新理事長
今福勇様	鈴木勘二様
柳川文平様	

(欠座)

## 大きく生長

## 生きがい事業団

去る五月十九日、平成二年度の通常総会が、来賓として安藤市長様を迎え、多数の会員の出席のもと、盛大に開催されましたのでその概要をお知らせします。

平成元年度の事業団活動は、市の積極的な援助と指導、そして市内の一般家庭、更には事業所等のご理解とご協力をいただき前年度にも増して一段と事業量の増大をみることできました。

特に、働いた会員への配分金は、前年度より四百六十三万余円の増で事業団発足以来最高の支払い額となりました。

この素晴らしい成果の背景には会員の豊かな経験を生かしたたゆまぬ努力が大きく貢献しているものと思えます。

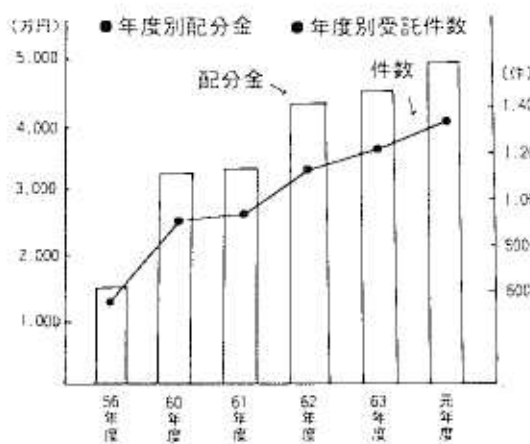
## (配分金)

配分金の総額は、前年度に比較して一〇、四％増の四千八百二十二万九千七百七十八円となり、月平均では四百一万九千円となりました。小規模事業団にしては実に立派な成果であると言えます。

## (受託件数)

仕事の総件数は千三百二十七件で前年度より七十四件の増をみております。特に企業における伸びが著しく、前年度百六件の受注に対して元年度は、百九十件で百八十％の伸び率となり非常なご協力をいただきました。

受託した件数を三つに区分しますと、市役所から三百四十九件で、全体の十八・八％。企業からは百九十件で、十四・三％。一般家庭からの受注は、八百八十八件で、六十六・九％となりました。更に仕事の種類

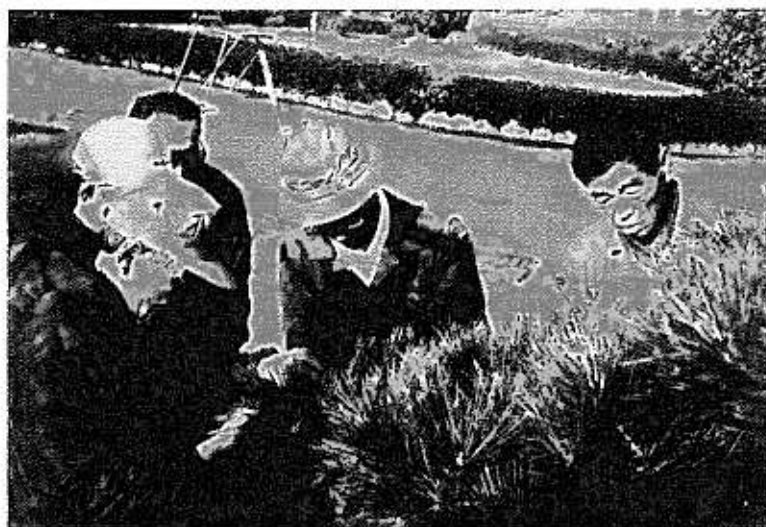


を大きく二つに分けると、技能系職種(植木、塗装・襖張り・大工仕事)が五百十二件。うち市役所が十九件、企業が十六件で、一般家庭が四百七十七件、圧倒的に一般家庭からの受注が多くなっております。軽作業の八百十五件の内訳は、市役所が二百三十件、企業が百七十四件で、一般家庭が四百十一件となり、ここでも一般家庭からの受注が多くなっております。

### “植木の手入れ講習会”

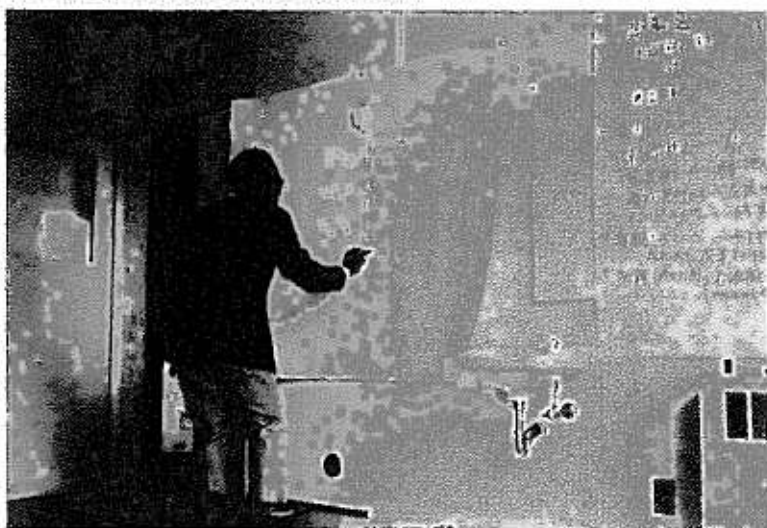
みなさんからの発注が、非常に多く、事業団の中心的職種です。たゆまぬ努力でウデをみがき、期待にそえるよう頑張っています。ご用命は早めに事務局に電話してください。

(七二一〇七八九 です)



(松の剪定実習)

(剪定の図解説明)



### “刃物とき講習会”

この写真は、鋸の目立てのポイントを説明している講師。修得まではかなりの年月が必要なようです。しかし自分のものから試みる事が、近道らしい。



(鋸の目立実習)

# 会員募集

生きがい事業団がシルバー人材センターに生まれかわります。いまの事業団とあまりかわりません。任意団体が社団法人となり、会費を納めていただくこととなります。事業団の会員は、いま百三十九名ですが、シルバー人材センターとしては、二百名程度の会員が必要です。一人でも多くの入会をおすすめします。

シルバー人材センターでは、仕事を開放して大勢の会員に就業の機会を与えるとともに、おたのしみ旅行なども考えております。

申込みは、

一、会員は、おおむね六十五以上で、健康な人。

二、会費は、年額で千円です。

三、申込みは、平成三年七月三十日までです。

四、申込みには、印鑑をもって「生きがい事業団」まできてください。

(りんどう会館の三階)

問合せは、「生きがい事業団」(TEL) 〇七八九